

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月8日

上場会社名 太陽化学株式会社

上場取引所 名

コード番号 2902 URL <http://www.taiyokagaku.com/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 山崎 長宏

問合せ先責任者 (役職名) 財務部 部長

(氏名) 荒木 幹治

TEL 059-340-0802

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	26,493	△2.6	1,551	65.9	1,553	101.6	832	284.1
21年3月期第3四半期	27,200	—	935	—	770	—	216	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	40.98	—
21年3月期第3四半期	10.35	—

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年3月期第3四半期	39,450	26,899	66.6	1,307.22
21年3月期	34,507	26,760	75.7	1,266.84

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 26,268百万円 21年3月期 26,106百万円

## 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	8.00	—	8.00	16.00
22年3月期	—	8.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	8.00	16.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,200	△3.4	1,810	54.7	1,850	102.6	910	279.2	45.29

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 有

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注) 詳細は、5ページ【定性的情報・財務諸表等】 4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

① 会計基準等の改正に伴う変更 無

② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) 22年3月期第3四半期 23,513,701株 21年3月期 23,513,701株

② 期末自己株式数 22年3月期第3四半期 3,419,094株 21年3月期 2,905,899株

③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間) 22年3月期第3四半期 20,303,980株 21年3月期第3四半期 20,932,973株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により記載の予想数値と大幅に異なる可能性があります。

## 【定性的情報・財務諸表等】

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業業績の減収幅が縮小する等、一部に回復の兆しがあるものの、急激な円高やデフレ圧力に伴う収益環境の厳しさも一部では浮き彫りになり、先行き不透明な状況で推移しました。

食品業界におきましても、雇用情勢の急激な悪化や、消費者物価の下落圧力が強まる中、家計所得環境を背景にした生活防衛による買い控え等もあり、事業環境はますます厳しさを増してまいりました。

このような環境の中で、当社グループは対処すべき課題として、①市場変化への対応、②販売の強化（グローバル化）、③品質管理体制の維持・強化、④環境への取り組み、⑤人材育成、⑥業務改善による全体最適化を掲げ、企業価値向上に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は264億93百万円（前年同四半期比2.6%減）、営業利益は15億51百万円（前年同四半期比65.9%増）、経常利益は15億53百万円（前年同四半期比101.6%増）、四半期純利益は8億32百万円（前年同四半期比284.1%増）となりました。

当第3四半期連結累計期間における事業の部門別の概況は次のとおりであります。

## ①ニュートリション事業部門

緑茶抽出物は、国内市場でオーラルケア用途の新規採用があったものの、国内及び米国市場におけるサプリメント用途が低調な動きとなりました。

機能性アミノ酸（テアニン）は、国内市場の飲料用途が低調な動きとなりましたが、韓国市場での新規採用もあり、売上高は堅調に推移いたしました。

水溶性食物繊維は、国内市場で医療食・健康食品用途に伸張し、欧州市場での乳製品用途も好調に推移いたしました。米国市場でのサプリメント用途が低調な動きとなり、売上高は減少いたしました。

ミネラル素材は、国内市場での加工乳製品用途を中心に堅調な動きとなりました。

この結果、売上高は39億17百万円と前年同四半期比1.8%の減少となりました。

## ②インターフェイスソリューション事業部門

乳化剤は、クレンジング向けを中心とする化粧品・トイレタリー用途が大きく伸張した他、油脂用等の一般食品用途も堅調に推移いたしました。

また、飲料用途の乳化安定剤及び乳化食品は堅調に推移いたしました。乳化・可溶化製剤は低調な動きとなりました。

増粘安定剤は冷菓用途がやや低調な動きとなりましたが、飲料用途、高齢者食品用途及び惣菜用途等が引き続き好調に推移いたしました。

この結果、売上高は93億33百万円と前年同四半期比2.6%の増加となりました。

## ③アグリフード事業部門

鶏卵加工品は、粉末卵は堅調に推移いたしました。酵素処理卵等の液卵加工品は低調な動きとなりました。また、国内卵価相場の影響もあり売上高は減少いたしました。

フルーツ加工品は、ヨーグルト用途は減少いたしました。アイスクリーム用途、パンジャム用途、デザート用途が好調に推移し売上高は増加いたしました。

即席食品用素材は、消費者の買い控え等の影響もあり売上高は減少いたしました。

この結果、売上高は131億71百万円と前年同四半期比6.1%の減少となりました。

#### ④その他部門

料理飲食等の事業を行っております。

売上高は71百万円と前年同四半期比16.3%の減少となりました。

## 2. 連結財政状態に関する定性的情報

### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結会計期間末の財政状態は、総資産が前連結会計年度末に比較して49億43百万円増加して、394億50百万円となりました。主な資産の変動は、現金及び預金の増加41億14百万円、受取手形及び売掛金の増加16億74百万円、原材料及び貯蔵品の増加1億88百万円、商品及び製品の減少4億36百万円、有形固定資産の減少5億99百万円です。

また、負債は前連結会計年度末に比較して48億3百万円増加して125億50百万円となりました。主な負債の変動は、短期借入金の増加28億31百万円、支払手形及び買掛金の増加16億94百万円、未払法人税等の増加1億85百万円、長期借入金の減少1億60百万円です。

また、純資産は前連結会計年度末に比較して1億39百万円増加して268億99百万円となりました。

この結果、自己資本比率は前期末の75.7%から66.6%となりました。

### (2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ11億25百万円増加し、28億57百万円となりました。

#### （営業活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における営業活動により24億30百万円の資金を獲得いたしました。その主な理由は、税金等調整前四半期純利益が15億23百万円、減価償却費計上による自己金融効果7億95百万円、たな卸資産の減少による3億16百万円、仕入債務の増加による16億85百万円等の資金の増加がありました。資金の減少については、売上債権の増加による16億74百万円、法人税等の支払4億38百万円等があげられます。

#### （投資活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における投資活動により31億95百万円の資金が減少しました。その主な理由は、定期預金の払戻による収入10億36百万円等があったものの、有形固定資産の取得による支出が1億92百万円、定期預金の預入による支出が40億25百万円となったことによるものであります。

#### （財務活動によるキャッシュ・フロー）

当第3四半期連結累計期間における財務活動により19億10百万円の資金が増加いたしました。その主な理由は、短期借入れによる63億83百万円の資金の増加があったものの、短期借入金の返済による支出35億54百万円、長期借入金の返済による支出1億58百万円、自己株式の取得による支出4億6百万円、配当金の支払3億26百万円等による資金の減少によるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、第3四半期連結累計期間の業績及び今後の見通しを勘案し、修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成22年2月8日）別途開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

なお、平成21年4月20日付で、株式会社ジャンアヴィスジャポンは、株式会社タイヨーラボに社名変更をいたしました。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

当社は、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

なお、法人税等調整額は、「法人税等」に含めて表示しております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】  
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,889,336	1,775,285
受取手形及び売掛金	10,109,331	8,435,196
商品及び製品	3,156,788	3,593,726
仕掛品	436,351	501,770
原材料及び貯蔵品	2,851,834	2,663,500
その他	591,847	541,853
貸倒引当金	△81,217	△76,988
流動資産合計	22,954,273	17,434,343
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,634,795	5,902,596
土地	5,939,296	5,939,905
その他(純額)	2,594,798	2,925,506
有形固定資産合計	14,168,889	14,768,008
無形固定資産		
のれん	144,526	162,627
その他	370,276	396,245
無形固定資産合計	514,803	558,873
投資その他の資産		
投資有価証券	1,524,403	1,440,051
その他	334,359	333,465
貸倒引当金	△46,085	△27,325
投資その他の資産合計	1,812,677	1,746,191
固定資産合計	16,496,370	17,073,073
資産合計	39,450,644	34,507,417

(単位：千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,478,965	3,784,189
短期借入金	4,311,863	1,480,796
未払法人税等	394,774	208,855
賞与引当金	150,641	214,143
その他	972,634	748,420
流動負債合計	11,308,880	6,436,406
固定負債		
長期借入金	195,778	356,110
退職給付引当金	514,824	490,208
役員退職慰労引当金	311,780	293,070
その他	219,519	171,233
固定負債合計	1,241,901	1,310,622
負債合計	12,550,782	7,747,028
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,730,621	7,730,621
資本剰余金	7,918,729	7,918,729
利益剰余金	13,819,715	13,314,249
自己株式	△3,136,419	△2,730,090
株主資本合計	26,332,646	26,233,510
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	144,955	134,911
繰延ヘッジ損益	△43,712	△91,827
為替換算調整勘定	△165,867	△169,847
評価・換算差額等合計	△64,624	△126,762
少数株主持分	631,840	653,640
純資産合計	26,899,861	26,760,388
負債純資産合計	39,450,644	34,507,417

(2) 【四半期連結損益計算書】  
【第 3 四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成20年 4 月 1 日 至 平成20年12月31日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成21年 4 月 1 日 至 平成21年12月31日)
売上高	27,200,879	26,493,891
売上原価	22,209,597	20,933,656
売上総利益	4,991,282	5,560,235
販売費及び一般管理費	4,056,117	4,008,638
営業利益	935,164	1,551,596
営業外収益		
受取利息	22,724	11,422
受取配当金	49,272	28,852
助成金収入	56,454	32,511
その他	84,225	84,165
営業外収益合計	212,677	156,952
営業外費用		
支払利息	114,823	76,005
為替差損	177,359	26,516
持分法による投資損失	956	4,263
その他	84,115	48,554
営業外費用合計	377,255	155,339
経常利益	770,586	1,553,209
特別利益		
前期損益修正益	17,553	—
固定資産売却益	26,587	—
投資有価証券売却益	—	396
貸倒引当金戻入額	—	375
その他	3,440	—
特別利益合計	47,581	771
特別損失		
前期損益修正損	—	10,783
固定資産除売却損	—	16,360
たな卸資産評価損	142,361	—
その他	78,517	3,109
特別損失合計	220,879	30,253
税金等調整前四半期純利益	597,289	1,523,726
法人税等	300,512	654,447
少数株主利益	80,171	37,217
四半期純利益	216,605	832,062



(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	597,289	1,523,726
減価償却費	813,844	795,188
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△29,347	23,193
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△107,771	△63,501
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	22,360	18,710
受取利息及び受取配当金	△71,996	△40,275
支払利息	114,823	76,005
為替差損益 (△は益)	120,146	21,049
持分法による投資損益 (△は益)	956	4,263
有形固定資産売却損益 (△は益)	△26,587	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	11,132	1,638
売上債権の増減額 (△は増加)	△2,152,325	△1,674,405
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△882,987	316,263
仕入債務の増減額 (△は減少)	2,537,085	1,685,520
その他	170,749	219,411
小計	1,117,370	2,906,789
利息及び配当金の受取額	73,992	42,478
利息の支払額	△107,897	△80,417
法人税等の支払額	△425,308	△438,677
営業活動によるキャッシュ・フロー	658,156	2,430,172
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,055,499	△4,025,632
定期預金の払戻による収入	143,688	1,036,468
有形固定資産の取得による支出	△370,431	△192,618
有形固定資産の売却による収入	56,442	14
投資有価証券の取得による支出	△19,553	△14,307
投資有価証券の売却による収入	500,000	978
無形固定資産の取得による支出	△6,047	△55
その他	30,447	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△720,952	△3,195,151
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	2,951,500	6,383,280
短期借入金の返済による支出	△1,646,680	△3,554,192
長期借入れによる収入	36,762	—
長期借入金の返済による支出	△185,091	△158,460
自己株式の取得による支出	△143,665	△406,329
自己株式の売却による収入	305	—
配当金の支払額	△335,910	△326,596
少数株主への配当金の支払額	△10,178	△26,815
財務活動によるキャッシュ・フロー	667,040	1,910,885
現金及び現金同等物に係る換算差額	△110,458	△20,683
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	493,786	1,125,223
現金及び現金同等物の期首残高	1,977,951	1,732,056
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,471,737	2,857,280

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

当社企業グループの事業は、「食品関連事業」並びにこれらの付帯業務の単一事業となっております。従いまして、開示対象となるセグメントはありませんので記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	25,592,189	367,315	1,241,374	27,200,879	—	27,200,879
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	1,183,042	1,790,339	—	2,973,381	(2,973,381)	—
計	26,775,232	2,157,655	1,241,374	30,174,261	(2,973,381)	27,200,879
営業利益	875,059	6,864	28,607	910,531	24,633	935,164

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	日本 (千円)	アジア (千円)	アメリカ (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に 対する売上高	24,627,955	707,534	1,158,401	26,493,891	—	26,493,891
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	715,288	1,251,780	—	1,967,068	(1,967,068)	—
計	25,343,244	1,959,314	1,158,401	28,460,960	(1,967,068)	26,493,891
営業利益又は営業損失(△)	1,497,183	9,954	△19,093	1,488,044	63,551	1,551,596

(注) 1 国又は地域の区分は、地理的近接度によっております。

2 本邦以外の区分に属する主な国又は地域  
アジア …………… 韓国、中国、インド

## 【海外売上高】

前第3四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年12月31日)

	アジア	米州	欧州	計
I 海外売上高(千円)	797,163	1,247,084	734,495	2,778,743
II 連結売上高(千円)				27,200,879
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	2.9	4.6	2.7	10.2

当第3四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年12月31日)

	アジア	米州	欧州	計
I 海外売上高(千円)	1,111,395	1,158,421	726,978	2,996,794
II 連結売上高(千円)				26,493,891
III 連結売上高に占める 海外売上高の割合(%)	4.2	4.4	2.7	11.3

(注) 1 国又は地域の区分方法

地理的近接度により区分しております。

2 各区分に属する主な国又は地域

アジア：韓国、台湾、中国等

米 州：アメリカ、カナダ、ブラジル等

欧 州：ドイツ、スイス、イタリア等

3 海外売上高は、当社及び連結子会社の本邦以外の国又は地域における売上高であります。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

自己株式の取得

当社は、当第3四半期連結累計期間において、取締役会決議に基づき、自己株式を513,195株、406,329千円取得いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は3,419,094株、3,136,419千円となっております。